

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																																	
YICビジネスアート専門学校		平成1年8月24日	中川 達也		〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8354																																	
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																																	
学校法人YIC学院		平成9年1月28日	井本 浩二		〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8111																																	
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																																
商業実務	商業実務専門課程	ペット総合学科 トリマーコース			商業実務専門課程 平成23年文部科学省告示166号	平成〇年文部科学省 告示第〇号																																
学科の目的	教育基本法及び学校教育法に基づき、商業実務分野及び教養面に関する専門知識・技術を教授するとともに良識なる社会人として必要な資質を養い、国家、地域社会の発展に貢献できる心豊かなスペシャリストの育成を目的とする																																					
認定年月日	平成26年3月31日																																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																															
	2年	2100時間	615時間	1425時間	60時間																																	
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																	
60人	30	0人	2人	10人	12人																																	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日			■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 【学生便覧 学習の手引き 5、成績評価】 ①成績評価は、試験のほか確認テスト、模擬テスト、レポート、出席状況、授業態度により総合的に評価する。 ②評価結果は、優、良、可、不可の4段階とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。 優 - 理解度及び日常の学習状況が優秀な者 (80点以上) 良 - 理解度及び日常の学習状況が良好な者 (79～70点) 可 - 理解度及び日常の学習状況がやや劣る者 (69～60点) 不可 - 理解度及び日常の学習状況が著しく劣る者 (60点未満) 未履修 - 各科目について欠席率が授業時数の1/3を超えるものは未履修とする。 ③評価結果が不可の者に対し再試験を実施することがある。再試験実施後、試験の結果の代わりに再試験の結果を用いて評価をやりなおす。ただし、優または良相当の成績であっても評価結果は可とする。 ④年度末に通年の評価結果の一覧を成績表として、保護者(保証人)に送付する。 ⑤卒業年次生は、就職活動に際し成績証明書の必要な場合がある。そのため、申請のあった者については各期末終了日前に、受講中の教科科目について中間評価を行う。その際、確認テストや模擬テスト、レポート、出席状況等をもとに評価を行う。																																		
長期休み	■学年始め：4月1日～4月7日 ■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月17日～翌1月7日 ■学年末：3月21日～3月31日			【学生便覧 学習の手引き 7、進級・卒業】 ①進級要件 年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める当該年度の教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価が すべて可以上であり、進級必要単位数を修得している。 b. 当該年度の学費、教材費等が納められていること。 ②卒業要件 卒業年度の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価が すべて可以上であり、卒業必要単位数を修得している。 b. 全ての学費、教材費等が納められていること。																																		
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 (出席状況不良者への対応) ・担任は原則として1か月ごとに担当学年の出席状況を確認する。 ・担任は科目の出席率が8割を満たさない者は、学生と面談を行い、その結果を学科責任者及び職員会議で報告する。必要に応じて学生指導及び保護者連絡を行う。 (長期欠席者への対応) ・上記の対応に加え、欠席が長期に渡る者については、電話連絡を密にし、必要に応じて学生及び保護者を召喚し、面談を行う。 ・学生及び保護者への対応を行った時は、その内容を学生個人記録に記録する。			■課外活動の種類 学生会(学生自治組織・学園祭の実行委員会等を行う) 無 ■サークル活動：																																		
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) ペットショップ、ペットサロン、動物病院等(このほか動物病院、イオンペット株式会社、みやもと動物病院等) 総合支援室との連携による、企業開拓、履歴書指導、インターンシップの実施等 <table border="1"> <tr> <td>■卒業生数</td> <td>13</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職希望者数</td> <td>13</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職者数</td> <td>13</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職率</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■卒業生に占める就職者の割合</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> </table> ■その他 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)			■卒業生数	13	人	■就職希望者数	13	人	■就職者数	13	人	■就職率	100	%	■卒業生に占める就職者の割合	100	%	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トリマー2級</td> <td>③</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>ペット販売士</td> <td>③</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>小動物看護師</td> <td>③</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	トリマー2級	③	13	13	ペット販売士	③	13	13	小動物看護師	③	13	13
■卒業生数	13	人																																				
■就職希望者数	13	人																																				
■就職者数	13	人																																				
■就職率	100	%																																				
■卒業生に占める就職者の割合	100	%																																				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																			
トリマー2級	③	13	13																																			
ペット販売士	③	13	13																																			
小動物看護師	③	13	13																																			

中途退学の現状	<p>■中途退学者 2 名 ■中退率 5.9 %</p> <p>平成29年4月1日時点において、在学者34名（平成29年4月1日入学者を含む） 平成30年3月31日時点において、在学者32名（平成30年3月31日卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 入学前の進路への未練、進路変更</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 ・1・2年の年次にQU（楽しい学校生活を送るためのアンケート）実施 ・クラス担任による定期的な面談</p>
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有</p> <p>指定校推薦奨学生制度（授業料5万円減免）、自己推薦奨学生制度（授業料3万円減免）、社会人特待生制度（授業料5万円減免）、Y I C特別就学支援制度（授業料20万円減免）、進級時成績優秀者奨学生制度（1～10万円給付）、Y I Cファミリーサポート（授業料5万円減免）、Y I C卒業生授業料サポート（授業料10万円減免）、Y I C入学選考料サポート（入学選考料減免）、遠距離サポート（毎月3千円支給）、ひとりぐらしサポート（毎月0.5～1万円支給）</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 給付対象 前年度の給付実績者数 0名</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）</p>
当該学科のホームページURL	<p>http://www.vic.ac.jp/ba/course/pet/</p>

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

- ・学科の専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会（教育課程編成委員会）を置く。
- ・審議事項は次の事項とする：カリキュラムの企画・運営・評価、各授業科目の内容・方法の充実及び改善、教科書・教材の選定、教員研修。
- ・委員会には学校関係者のほか、専攻分野に関する企業等の役員または有識者を1人以上加えることとし、企業等との連携を密にする。（以上 学校法人Y I C学院 教育課程編成委員会規則 より抜粋）

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

- ・「学校法人Y I C学院は、設置する専門学校各校の各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会を置く。」（学校法人Y I C学院 教育課程編成委員会規程第2条より）
- ・カリキュラムは、教育課程編成委員会の意見等を参考に、学内教育課程編成委員会において編成する。教職員会議での検討を経た後、理事会の承認を受け最終決定。
- ・授業内容・方法の改善・工夫等については、教育課程編成委員会の意見を参考に、可及的速やかに対応する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年9月15日現在

名前	所属	任期	種別
中野 正司	山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 院長	平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年）	①
中野 園子	山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 副院長	平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年）	①
藤田 賀津利	ペットショップ ハッピー・わん 代表	平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年）	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回、1回目は6月～8月、2回目は2月～3月

（開催日時）

第1回 平成29年8月25日 15：00～16：00

第2回 平成30年2月～3月実施予定

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・トリミング実習犬猫の個体識別および連絡用カルテの作成を開始。
- ・実習時間外での実習犬とのふれあい時間を設置。
- ・動物愛護センターの見学を実施。（10月予定）
- ・ピジネスカリキュラムの時間数や扱いについてのご意見を頂き、「ペットの社会問題」を夏季休暇中の課題とし、レポート提出。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ・山口県内外の、学生の希望施設を選定している。
- ・学生の興味分野や就職希望分野（進路）も踏まえ、連携がとれる施設を選定している。
- ・指導者の監督の下、見学・実習を行い職業理解に努める。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

- ・実習、演習においては企業への「誓約書」「同意書」の提出、企業間で「覚書」を交わしている。
- ・実習・演習の方法・成績評価の方法について実習指導者・教員・学生間で共有している。
- ・実習期間中は教員が電話あるいは訪問して状況確認を行い、問題があれば対応について協議する。実習指導者が記入する。企業実習評価報告書と、実習終了後に行う報告会での報告内容を踏まえ、教員が最終成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップⅠ	働く意義や仕事の大切さ、将来進むべき道を考える機会として、ペットショップ、ペットサロン、動物病院などでの就業体験を行う。	ドッグサロン 花陰 株式会社 アミーゴ周南店 株式会社 ケン&ワン周南久米店 ラビータ ザ・モール周南店 With Dog ペットの床屋さん しゅりんこ等
インターンシップⅡ	働く意義や仕事の大切さ、将来進むべき道を考える機会として、ペットショップ、ペットサロン、動物病院などでの就業体験を行う。	ワンちゃん美容室 Boon いぬ吉 イオンペット株式会社等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
(教員の研修等の基本方針)
 ・YICグループ教職員研修規程に基づき計画的に研修を実施している。
 ・常に変化する業界動向に合わせて、技術・知識の確認をするために、企業企画・イベントの参加を推奨している。
 ・資格取得のための研修を推奨している。

(2) 研修等の実績
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 JKCTリマ―義務研修会／1名
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 特別講師による実技研修／2名
 「実践的なアクティブラーニング授業」

(3) 研修等の計画
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 JKCTリマ―義務研修会／1名
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 特別講師による実技研修／2名
 「実践的なインストラクショナルデザイン授業」

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

・学校関係者評価委員会において、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに当該年度の重点項目を中心に意見等をまとめ報告書を作成していただく。
 ・学校関係者評価委員会からの報告書に基づいて本校の自己点検評価を見直し、次年度の改善計画における重点項目を決定する。これらについて年報・ホームページ等で公表する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2) 学校運営	7 管理運営 9 改革・改善
(3) 教育活動	2 教育の内容
(4) 学修成果	4 教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	3 教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	5 学生支援
(8) 財務	8 財務
(9) 法令等の遵守	7 管理運営
(10) 社会貢献・地域貢献	6 社会的活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・本校で実施した自己点検評価・改善計画を学校関係者評価委員会に提出し、意見・協議結果をもとに学校機能評価報告をまとめ、年報・ホームページで公開する。改善計画にもとづき学校運営や教育の改善を計画的に行う。またシラバスがテキストの目次に基づくものが多く、具体性がない。今後、シラバス・コマシラバスの整備をインストラクショナル・デザインを取り入れて改善していくことに決定した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
亀井 ますみ	医療事務学科 在校生 保護者	平成28年4月1日 ～平成30年3月31日	保護者代表
水津 敬太	パティシエ学科 卒業生	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	卒業生
兼益 壮太郎	富士ゼロックス山口株式会社 山口支店 支店長	平成28年4月1日 ～平成30年3月31日	企業等委員
原田 誠	山口商工会議所 企業支援部長	平成28年4月1日 ～平成30年3月31日	企業等委員
古谷 雅之	株式会社 山口グランドホテル 常務取締役総支配人	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	企業等委員
天津 昇次	社団法人 山口県病院協会 事務局長	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	企業等委員
兼重 顕治	医療法人 協愛会 阿知須共立病院 事務部経営企画室人材開発グループリーダー	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	企業等委員
中川 徳弘	和洋菓子 ながかわ	平成28年4月1日 ～平成30年3月31日	企業等委員
中野 正司	山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 院長	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	企業等委員
渡邊 芳雅	学校法人三田尻学園 誠英高等学校 教頭	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	高校関係者

岡村 昭男	学校法人鴻城義塾 山口県鴻城高等学校 教員	平成29年4月1日 ～平成31年3月31	高校関係者																								
<p>※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等</p>																											
<p>(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 (ホームページ・毎年委員会終了後公開) URL:http://www.yic.ac.jp/ba/disclosure/</p>																											
<p>5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係</p>																											
<p>(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針</p> <p>・「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容(提供する情報の項目例)全てについて、ホームページ上にて情報提供する。</p>																											
<p>(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガイドラインの項目</th> <th>学校が設定する項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 学校の概要、目標及び計画</td> <td>学校の概要、目標及び計画</td> </tr> <tr> <td>(2) 各学科等の教育</td> <td>各学科(コース)等の教育</td> </tr> <tr> <td>(3) 教職員</td> <td>教職員</td> </tr> <tr> <td>(4) キャリア教育・実践的職業教育</td> <td>キャリア教育・実践的職業教育</td> </tr> <tr> <td>(5) 様々な教育活動・教育環境</td> <td>様々な教育活動・教育環境</td> </tr> <tr> <td>(6) 学生の生活支援</td> <td>学生生活支援</td> </tr> <tr> <td>(7) 学生納付金・修学支援</td> <td>学生納付金・修学支援</td> </tr> <tr> <td>(8) 学校の財務</td> <td>学校の財務</td> </tr> <tr> <td>(9) 学校評価</td> <td>学校の評価</td> </tr> <tr> <td>(10) 国際連携の状況</td> <td>国際連携の状況</td> </tr> <tr> <td>(11) その他</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table>				ガイドラインの項目	学校が設定する項目	(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画	(2) 各学科等の教育	各学科(コース)等の教育	(3) 教職員	教職員	(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育	(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境	(6) 学生の生活支援	学生生活支援	(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援	(8) 学校の財務	学校の財務	(9) 学校評価	学校の評価	(10) 国際連携の状況	国際連携の状況	(11) その他	その他
ガイドラインの項目	学校が設定する項目																										
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画																										
(2) 各学科等の教育	各学科(コース)等の教育																										
(3) 教職員	教職員																										
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育																										
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境																										
(6) 学生の生活支援	学生生活支援																										
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援																										
(8) 学校の財務	学校の財務																										
(9) 学校評価	学校の評価																										
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況																										
(11) その他	その他																										
<p>※(10)及び(11)については任意記載。</p>																											
<p>(3) 情報提供方法 URL: http://www.yic.ac.jp/ba/disclosure/</p>																											

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ペット総合学科 トリマーコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			表計算技法	Excel3級の取得を目指し、基本的な関数の使い方とグラフ作成方法について講義と演習をする。	1後	30	1	○			○			○	
○			文書処理技法	Word3級の取得を目指し、表を含むビジネス文書が体裁よく作成できるよう講義と演習をする。	1前	30	1	○			○			○	
○			生理学・解剖学	生命のなりたちを科学物質レベルから個体レベルまで理解する。細胞膜を含む細胞の構造と、これらの機能を理解する。	1前	60	2	○			○			○	
○			栄養学	基礎栄養素及び犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基礎的知識と特別療法食の特性など、個体に合った適切な食事管理についての知識を身につける。また、ペットフードの市場について考察する。	1後	30	1	○			○			○	
○			疾病学基礎	病態生理学を学ぶ際の基本となる脱水、浮腫、ショック、呼吸困難、咳について学ぶ。	1後	30	1	○			○			○	
○			衛生管理学	感染が成り立つ背景、原因を知り、環境衛生を含めた衛生管理の考え方を習得する。病原体の種類と特徴を学び、感染症の知識を身に付ける。	1後	60	2	○			○			○	
○			動物看護学Ⅰ	それぞれの疾患及び状況、環境などを考慮し、個体にあった看護の基礎を学ぶ。	1通年	90	3	○			○			○	
○			動物看護実習学Ⅰ	講義で習得した知識の実践とし、診察現場に必要な検体検査及び生体検査に関する意義を理解し基本的手技を身につける。	1通年	60	2	○			○			○	
○			ドッグトレーニング	基本的行動様式から適正飼育と正しいハンドリング及び基本的なしつけを理解し、看護と飼主指導に活かす。	1前	30	1	○			○			○	
○			ペット一般教養	ペットについての一般教養や知識を学ぶ。	1前	30	1	○			○			○	
○			ペット販売士Ⅰ	過去の模擬試験問題とテキストを使用し、ペット販売士の合格を目指す。	1後	30	1	○			○			○	

○		小動物看護師Ⅰ	過去の模擬試験問題とテキストを使用し、ペット小動物看護師の合格を目指す。	1後	30	1	○		○	○			
○		トリミング実習Ⅰ（基礎）	基本的なトリミング方法を身に付け技術習得	1前	240	8		○	○	○	○		
○		トリミング実習Ⅰ（応用）	高度トリミング技術の習得	1後	210	7		○	○	○	○		
○		ビジネスマナーⅠ	社会人としてのビジネスマナーを身に付ける。立ち方、座り方、お辞儀の仕方、場面に応じた言葉遣いと感じのよい振る舞い、基本的な来客対応ができるようになる。	1前	30	1		○	○		○		
○		ビジネスマナーⅡ	企業人として、会社内でお客をおもてなしする際のマナーを学ぶ。来客対応の基礎として、受付、取り次ぎ、ご案内の仕方を身につけ、また、お客様のご要望に合わせた臨機応変な対応を習得する。	1後	30	1		○	○		○		
○		パーソナルスキル	自分の強みと弱み、どのような価値観を持っているかなど、自己理解をし職業選択ができるようになる。職業人としてのコミュニケーション技術を学ぶ。	1通年	60	2	○	○	○	○			
○		インターンシップⅠ	ペットサロン、動物病院等での職業体験を行い、働く事の意義や自分に足りない物事を考え、今後の課題として認識する。	1後	30	1			○	○			○
○		動物形態機能学	免疫系の基礎的な仕組みを理解する。血液の働きと、各血球成分の特徴について理解する。細胞の構造、機能について理解する。	2前	60	2	○		○			○	
○		動物看護学Ⅱ	高齢動物に特有の身体的変化を知り、適正な看護方法を身につける。緊急時に使用する器具、機材について学び、心肺蘇生術の流れも理解する。	2前	30	1	○		○		○		
○		動物看護総合学	動物看護師業務を行う上で必要な全ての総合知識を学ぶ。	2前	30	1	○		○		○		
○		エキゾチックアニマル・飼養管理学Ⅰ	各動物の特徴、生体について正しく理解する。主な病気や予防を理解する。実験動物、産業動物、展示動物の社会的役割を理解する。	1 2前	30	1	○		○			○	
○		高度トリミング実習Ⅱ（応用）	トリミング技術の高度技術を実習で磨く。	2前	360	12		○	○		○	○	
○		ペット販売士Ⅱ	過去の模擬試験問題とテキストを使用し、ペット販売士の合格を目指す。	2前	30	1	○		○		○		
○		小動物看護師Ⅱ	過去の模擬試験問題とテキストを使用し、小動物看護師の合格を目指す。	2前	30	1	○		○		○		

○		就職実務	就職活動に向けての履歴書作成指導と面接指導	2 前	30	1	○	○	○	○								
○		インターン シップⅡ	企業、動物病院などで、就業体験を行い、働く意義や仕事の大切さを学び、将来進むべき道を考える。	2 前	30	1			○	○								○
○		高度トリミング 実習Ⅱ-A	トリミング技術の高度技術を実習で磨く。	2 後	360	12			○	○			○	○				
○		高度トリミング 実習Ⅱ-B	トリミング技術の高度技術を実習で磨く。	2 後	270	9			○	○			○	○				
○		高度トリミング 実習Ⅱ-C	トリミング技術の高度技術を実習で磨く。	2 後	180	6			○	○			○	○				
○		高度トリミング 実習Ⅱ-D	トリミング技術の高度技術を実習で磨く。	2 後	90	3			○	○			○	○				
○		職業実践A	就職内定先で業務を覚え、技術の向上を目指し、職場で必要とされる人材となる。	2 後	360	12				○			○					○
○		職業実践B	就職内定先で業務を覚え、技術の向上を目指し、職場で必要とされる人材となる。	2 後	270	9				○			○					○
○		職業実践C	就職内定先で業務を覚え、技術の向上を目指し、職場で必要とされる人材となる。	2 後	180	6				○			○					○
○		職業実践D	就職内定先で業務を覚え、技術の向上を目指し、職場で必要とされる人材となる。	2 後	90	3				○			○					○
合計					27科目				単位時間(70単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	卒業要件70単位	1学年の学期区分
	1学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。